

CASBEE[®] 新築[簡易版]

評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.5)

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|----------------------|--------|-------------|
| 建物名称 | 鎌倉根原テラス | 階数 | 地上 5F |
| 建設地 | 神奈川県鎌倉市根原二丁目982番 | 構造 | RC造 |
| 用途地域 | 第一種中高層住居専用地域、準防 | 平均居住人員 | 257 人 |
| 気候区分 | 地域区分 | 年間使用時間 | 8,760 時間/年 |
| 建物用途 | 集合住宅 | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2012年12月 予定 | 評価の実施日 | 2012年1月25日 |
| 敷地面積 | 2,701 m ² | 作成者 | (株)アトリエ・アプト |
| 建築面積 | 1,538 m ² | 確認日 | 2012年1月27日 |
| 延床面積 | 7,357 m ² | 確認者 | (株)アトリエ・アプト |



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.9

S: A: B+: B-: C:

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

参照値: 100%

建築物の取組み: 70%

上記+ 以外のオンサイト手法: 70%

上記+ オフサイト手法: 70%

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.3

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

| 3 設計上の配慮事項 | |
|---|--|
| 総合 | その他 |
| 地球温暖化防止と住人が住みやすい環境の二つを補えるよう配慮した。 | |
| Q1 室内環境 遮音性能に優れたサッシュ、界壁、界床を採用し、各住戸のプライバシーや幹線道路からの騒音の侵入を防いでいる。 | Q2 サービス性能 各住戸に G b 1 クラスのブロードバンドを導入し、先端の情報通信サービスを提供できるようにしている。耐用年数の永い材料で、良い状態を長い間使用できる環境を提供している。 |
| LR1 エネルギー 高効率機器 (LED照明、潜熱回収型給湯器、高効率のエアコン) を採用している。太陽光発電を採用し、自然エネルギーの恩恵を十分に受けるようにしている。 | LR2 資源・マテリアル 水資源の保護と再生品再利用を積極的に採用するように努めている。また、有害物質の少ない材料を使用するよう努めている。 |
| | Q3 室外環境 (敷地内) 緑地を効果的に配置し、植栽に親しむことができるように配慮している。ヒートアイランド現象の緩和に寄与している。 |
| | LR3 敷地外環境 地球温暖化の原因となる運用エネルギーの削減に取り組んでいる。(LCCO2削減率が30%) また、敷地外のヒートアイランド現象の緩和に寄与している。 |

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい